

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 天心堂	代表者	理事長 志田知之	法人・事業所の特徴	法人：医療機関の立場に立った「地域貢献」をモットーとしており、「一本の大きな木の様に」～地域に安心と豊かさを～を運営理念に掲げ、真の「地域密着型病院」を目指しております。 くすの木：ご利用者様の介護状態とご希望を踏まえて「通い」を中心として、「訪問」と「泊まり」を組み合わせた介護サービスの提供を行います。
事業所名	小規模多機能ホーム くすの木	管理者	首藤貴信		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	4人	6人	人	1人	人	人	1人	人	13人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	地域行事への積極的参加と多世代の交流を深めていけるよう取り組みを行なっていく。	地域行事への参加ができず、来年度の目標としたい。9月には近隣の保育園との交流ができた。	事業所内での取り組みをまだ詳細に分からない人もいるので、見学をしてみたい。	2024年度は交流が少なかった為、定期的に世代交流ができるように企画をしていきたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	施設内外の環境整備を整え、利用者様が安心して過ごせる環境づくりを行う。	季節に応じた花を植えたことで、利用者様や外部の方に見てもらえることができていた。	庭の手入れをしっかりとされています。施設の前を通る時に楽しみにして拝見しています。	季節に応じた花の植え替えを継続し、地域の方が気軽に寄れる施設を目指していきたい。
C. 事業所と地域のかかわり	多世代交流に向けて、くすの木でのイベントへの参加呼びかけを積極的に行い地域との関わりを増やしていく。	感染症の流行等の状況を考えながらイベントの企画を行うが、ボランティアや慰問の呼びかけがあまりできなかった。	業務中、いろいろイベントを企画され取り組まれているので素晴らしいと思います。	地域の方や世代間の交流を目標に企画をし、参加を呼びかけ取り組んでいきたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	利用者様が地域行事や地域の方と交流し関わっていくことで、地域との繋がりが断たないようにしたい。	地域行事の把握ができておらず、地域の方との交流が少なかった。近隣の保育園との関わりは利用者様も喜ばれておりよかった。	職員さんには地域活動への参加をしてもらい大変助かっています。利用者の方との交流する機会を考えたいと思います。	地域での相談事にもしっかりと耳を傾け、介護施設として関わりを深めていきたい。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	今年度より対面での開催となったが、感染状況を見て臨機応変に開催を行っていききたい。	対面で開催できたことで、外部の方より生の声で地域の現状等がわかることができている。	対面での会議になり、直接施設の活動がわかる事ができています。施設内だけでなく、外での活動もされており、忙しい中すごいと思いました。	今後も感染症の状況をみながら対面式での会議を開催していき、外部の方の生の声を聞き、できることは対応していきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	運営推進会議に参加されている外部の方にも実際に参加をしてもらい避難訓練を行えるように計画をしていきたい。	避難訓練では声かけができておらず、外部の方の参加がなかった。来期は計画性を持ち取り組む。	避難訓練をしっかりと取り組まれていると思います。地域との共同避難訓練を通じて地域と施設との情報を共有する必要があります。利用者さんの対応等知っていききたいです。	年2回の避難訓練に地域の方も交えて取り組むことで、施設の事をより理解してもらえるように企画する。